

令和5年度

事業報告書

2024年（令和6年）6月



公益財団法人

横浜市スポーツ協会

YOKOHAMA SPORT ASSOCIATION

【目次】

I 事業の状況	- 1 -
1 競技スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号】	- 1 -
2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】	- 3 -
3 健康・体力づくりの推進事業【定款第4条第1項第1号、第3号、第4号、第5号】	- 4 -
4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】	- 7 -
5 スポーツ情報の収集・提供と調査研究【定款第4条第1項第2号】	- 8 -
6 インクルーシブスポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】	- 9 -
7 スポーツ団体育成・支援等事業【定款第4条第1項第1号、第5条第1項第2号】	- 10 -
8 スポーツ施設の運営事業【定款第4条第1項第5号、第5条】	- 11 -
9 その他事業	- 19 -
II 処務の概要	- 20 -
1 評議員に関する事項【定款第11条】	- 20 -
2 役員に関する事項【定款第22条】	- 22 -
3 職員に関する事項【定款第42条】	- 24 -
4 委員会に関する事項等【定款第43条】	- 24 -
5 加盟団体に関する事項【定款第44条】	- 24 -
III 資料	- 25 -
1 中期計画達成状況	- 26 -
2 賛助会員	- 27 -

I 事業の状況

1 競技スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号】

幅広い市民を対象とした各種競技会・大会等のスポーツを実践できる場と機会を提供することで、競技スポーツを推進しました。

(1) スポーツ助成事業

ア 第19回都市間交流スポーツ神戸大会

6月24日(土)・25日(日)、7月8日(土)・9日(日)、16日(日)に、神戸市で9種目の大会を実施しました。

イ 市民スポーツ大会・市民マスターズスポーツ大会

競技団体が主管し大会運営を行う、市民スポーツ大会及び市民マスターズスポーツ大会を実施しました。

	市民スポーツ大会	市民マスターズスポーツ大会
実施競技数	35 競技(うち3競技中止)	27 競技(うち2競技中止)
参加人数	32,060 人(前年度 29,760 人)	8,713 人(前年度 9,000 人)

種目	テニス	軟式野球	ソフトボール	ラグビー	弓道	バレーボール	馬術
市民大会	3,322 人	325 人	5,150 人	360 人	590 人	1,300 人	64 人
マスターズ	62 人	1,321 人	900 人	225 人	162 人	—	—

種目	陸上	バスケットボール	ボクシング	アーチェリー	ソフトテニス	ウェイトリフティング	相撲
市民大会	2,465 人	4,650 人	42 人	260 人	5,718 人	36 人	65 人
マスターズ	303 人	300 人	—	—	265 人	—	8 人

種目	体操	少林寺拳法	空手道	卓球	ハンドボール	日本拳法	剣道
市民大会	222 人	83 人	465 人	799 人	163 人	36 人	138 人
マスターズ	—	12 人	70 人	184 人	570 人	—	124 人

種目	綱引	水泳	バドミントン	インディアカ	サッカー	カヌー	ダンススポーツ
市民大会	370 人	1,582 人	1,337 人	145 人	1,350 人	中止	70 人
マスターズ	—	1,112 人	—	91 人	1,850 人	中止	13 人

種目	ボウリング	スキー	なぎなた	パワーリフティング	ボート	スポーツチャンバラ	ゲートボール
市民大会	159 人	232 人	59 人	中止	375 人	70 人	—
マスターズ	41 人	49 人	—	中止	473 人	13 人	286 人

種目	グラウンドゴルフ	レスリング
市民大会	—	中止
マスターズ	240 人	—

ウ 各区交流スポーツ大会

加盟地域団体及び競技団体と連携して、市内 18 区間のスポーツ交流大会を実施しました。

種目	卓球	剣道	バドミントン	インディアカ	弓道	テニス	軟式野球
参加人数	197 人	824 人	216 人	115 人	101 人	170 人	400 人
合計	2,023 人(前年度 727 人)						

エ ジュニア競技力向上事業(合同強化練習)

競技団体の開催する、小・中・高校生を対象にした合同強化練習事業を実施しました。

実施団体	15 団体
参加人数	2,158 人(前年度 2,099 人)

(2)スポーツ大会支援事業

大規模スポーツ大会の円滑な開催のため、運営組織への参画等の支援活動を行いました。

ア 世界トライアスロンシリーズ横浜大会支援事業

(大会主催:世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会)

パリ 2024 オリンピック・パラリンピックのポイント対象レースとして、エリートの部、エリートパラの部を開催しました。また、エイジグループ大会も 10 代から 80 代までの幅広い年齢層の参加者 1,440 人を集め実施しました。

部門	【エリート】 【エリートパラトライアスロン】 世界のトップアスリートによる 世界最高峰の国際大会	【エイジグループ】 都市型トライアスロンとして 日本最大規模の一般大会
開催日	5 月 13 日(土)	5 月 14 日(日)
コース	山下公園、日本大通り、 赤レンガ倉庫、大さん橋	山下公園、山下ふ頭、 象の鼻パーク
出走者数	190 人 (2022 年:134 人)	1,440 人 (2022 年:1,444 人)
参加国数	32 の国及び地域	
観戦者数	331,000 人	



2023 年エリート女子優勝選手

イ 八景島トライアスロンフェスティバル支援事業

(大会主催:横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会)

前年まで 3 大会連続中止となっていたこともあり、大会名称をリニューアルし、ファミリーレー、チーム対抗戦を導入するなどして 4 年ぶりに開催しました。

種目	スプリント、パラトライアスロン、リレー、ファミリーレー、 アクアスロン、キッズペアチャレンジ
開催日	9 月 24 日(日)
出走者数	465 人/421 組
完走者数	435 人/393 組
完走率	93.5%



八景島トライアスロンフェスティバル

ウ 横浜マラソン 2023 支援事業

(大会主催:横浜マラソン組織委員会)

小雨交じりでのスタートでしたが、すぐに晴れ間もみられ、好天のもと「横浜マラソン 2023」を開催しました。

2万人超のランナーの皆さまが横浜の街を駆け抜けました。

種目	フルマラソン、ペアリレー、みなとみらい7kmラン、車いすチャレンジ、ファンラン ファミリー、ファンラン 中学生
開催日	10月29日(日)
参加人数	22,904人
完走者数	21,882人
完走率	95.5%
沿道応援者数	約47.1万人



横浜マラソン 2023

(3)スポーツ大会派遣事業

第35回全国健康福祉祭 えひめ大会(ねんりんピック 笑顔のえひめ 2023)参加選手選考に必要な支援・助成を行うと共に、横浜市代表選手を大会に派遣しました。



ねんりんピック出場選手

2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

身近な場所で気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境を整えることで、地域のスポーツ活動を推進しました。

(1)地域スポーツ支援事業

ア 地域へのスポーツ支援

区民に密着した活動を行っている加盟地域団体や、スポーツ推進委員、地域で活動しているスポーツ関連団体等と連携・協力し、身近な場所で気軽にスポーツに親しむことができるよう、地域のスポーツ振興を支援しました。

イ さわやかスポーツ事業

いつでもどこでも気軽にできるニュースポーツ「ヨコハマさわやかスポーツ」の普及を、地区活動等を通じて行いました。

事業名	開催回数	延べ参加人数
地区活動	3,832回	70,731人
各区大会	33回	2,440人
各区フェスティバル	45回	10,684人
講習会	19回	558人
その他	1,268回	84,343人
普及委員会	129回	1,389人
合計	5,326回	170,145人
(前年度)	(5,929回)	(167,197人)



さわやかスポーツ体験会

(2)スポーツイベント開催事業

ア 第34回よこはまシティウォーク

令和6年3月20日(水・祝)、象の鼻パークを発着会場として、第34回よこはまシティウォークを開催しました。

また、同会場にて「ウェルネスフェス」を開催し、多くの来場者でにぎわいました。

◆参加人数・・・2,508人(ウェルネスフェス含む)



よこはまシティウォーク

3 健康・体力づくりの推進事業【定款第4条第1項第1号、第3号、第4号、第5号】

心身両面の健康保持のため、ライフステージに応じたスポーツ活動や健康づくりのための取り組みを進めました。

(1)子どもの体力向上事業

ア 子どもの体力向上支援事業

小学校、学校保健委員会、地域人材等と協働し、小学校等で児童向けの体力向上や運動の習慣化につながる取り組み、保護者を対象とした運動啓発などを行いました。

特に学校保健委員会では、外遊びを通じた運動の紹介、けが予防や姿勢の改善などをテーマに、ストレッチや講座なども行いました。

	小中学校への訪問事業	その他
実施回数	延べ52校、68回	1回
参加人数	延べ6,626人	300人

イ はつらつキンダー事業

保育園において、運動・遊びを通じて体を動かす楽しさを伝える中で、幼児期に必要な多様な動きの習得や生涯にわたってスポーツに親しむための基盤づくりにつながる事業を実施しました。

また、2月10日(土)には、栄スポーツセンターにて「はつらつキンダーフェスタ2024」を開催しました。

事業名	保育園訪問運動指導(はつらつキンダー事業)	
実施回数	延べ25園、292回	
参加人数	延べ8,183人	



はつらつキンダーフェスタ2024

ウ スポーツ少年団事業

市内のスポーツ少年団の普及と活動の活性化を進めながら、スポーツを通じた青少年の心身の健全な育成と、生涯スポーツの普及振興を図りました。

登録数	10競技、28団体		
指導者数	140人	団員数	563人

エ こどもマリンスクール事業

帆船日本丸を活用し、小学4～6年生を対象に、集団生活を通して、船員活動体験や海に関する学習、レクリエーション活動を行いました。

実施日	6月25日(日)～11月11日(土)
会場	帆船日本丸 等
参加人数	72人



こどもマリンスクール

(2)健康づくり支援事業

ア 講座・セミナー

地域指導者の養成やスキルの維持向上のための各種講座を開催しました。

基礎的なスポーツ指導や運営のための資格取得講座（コーチングアシスタント養成講座）を新たに開催しました。

また、介護予防に関わる講座や、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールと連携した講座等を開催し、地域で活躍できる人材を育成しました。

講座名	実施回数	参加人数
コーチングアシスタント 養成講座	2回	34人
介護予防運動指導員 養成講座	2回 (eラーニング4週間・集合3日)	11人
介護予防運動ワークショップ	1回	7人
高齢者・障害者運動支援プログラム講座	2回(2日間)	24人
姿勢改善プログラムワークショップ講座	2回	30人
スポーツリズムトレーニング ディフューザー養成講座	1回	11人
リズムステップ ディフューザー講習会	1回	14人
合計		131人

イ 健康体力づくり派遣指導事業

地域へ出向き、生活習慣の改善や介護予防の推進に必要な運動習慣のきっかけづくりなどにつながるプログラムを提供し、市民の健康づくりを推進しました。

AIによる姿勢解析ソフトを活用し、新たな測定プログラムとして姿勢測定&姿勢改善サービスも提供しました。

また、身近な場所でのフレイル予防事業として、横浜市・イオンリテール株式会社・大塚製薬株式会社と連携し、イオン店舗内での測定事業等も実施しました。

◆参加人数・・・19,912人



姿勢測定・体力測定事業

ウ ウェルネスプログラムサービス事業

オリジナルプログラム「YSA ジョイウェルコンセプト」を活用して、「関節ととのえ塾」、「パーソナルコンディショニング事業」及び「ランナー向けコンディショニング&トレーニング講座」を実施しました。

サービス名	参加人数
関節ととのえ塾(集団教室)	372人
パーソナルコンディショニング	191人
ランナー向けコンディショニング&トレーニング講座	37人



ランナー向け講座

エ 健康経営支援事業

働く世代の健康づくりを支援するため、企業に向けたプログラム提案（開発）や健康づくりの専門家派遣、健康経営に取り組む企業や団体のサポートに加え、企業オリジナルの種目を取り入れた企業向けの運動会をトータルサポートしました。



企業運動会

(3)スポーツデザイン事業

ア 新規イベント事業

ヨコハマ SDGs デザインセンター、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社エイチ・アイ・エス HR Lab. との共創により、パートナーシップ&リーダーシップのノウハウを学ぶ「フレッシュマン向け 1 day セミナー」を実施しました。

また、関内・関外エリアの賑わいづくりの起点となることを目指し、横浜スタジアムを中心に9日間開催された「BALL PARK FANTASIA」へ事業協力を行いました。本事業は、株式会社ディー・エヌ・エーをはじめとする8社により構成されたプロジェクトの他、多数の企業との共創により家族連れをターゲットに実施し、延べ11万人の来場がありました。



BALLPARK FANTASIA

イ コンサル事業

PFI事業及び横浜BUNTAIにおけるメインアリーナの運営に関するコンサルティング契約に基づき、サポートを行いました。

また、たきがしら会館の指定管理者となった株式会社横浜ビー・コルセアーズが、安定的な運営を行うための業務委託契約を結び、運営支援を実施しました。指定管理最終年度の2028年3月31日まで5年間のサポートを行います。

ウ オンライン事業

令和4年度に開催した、「番組見放題」『ウェルネスサポートオンラインフェス』学んで！動いて！！おいしい！！最強テクニックを学ぶ」のオンラインセミナー（14種）を、令和5年度は、「ジャンル」や「講師別」に分けアーカイブ動画として販売し、参加者の好きなタイミングで視聴できるように設定しました。

エ ツーリズム事業

大さん橋ホールで開催されたイベント「KABUTO BUDO ÊT MODE」に、横浜武道館として参画しました。イベントブースでの「空手板割り体験」の他、コシノ・ジュンコ氏演出監修の「武道とモードが融合したショー」へは、空手道連盟・弓道連盟・なぎなた連盟が出演するなど、観光庁における観光再整備事業への運営協力を担いました。



4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

スポーツ指導者・ボランティアの養成を通じ、市民が運動・スポーツに対する正しい知識や技術を身に付けられる環境づくりを行いました。

(1) 指導者養成事業

ア スポーツ人材養成・活用事業

身近な地域でスポーツ振興のために活動できる人材を養成するため、「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」を開催しました。

また、講座修了者を含め、地域での活動者を支えるため、横浜市スポーツ人材活用システム登録者制度を運用し、活動機会の情報提供や研修、情報交換会を開催しました。また、指導現場でおこる事故等に対する補償制度の案内を行いました。

講習会名	開催日	参加人数
横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座	7月～11月 全12回	286人
スポーツ人材活用システム新規登録者対象指導現場見学会	12月～1月(3回)	各3人
補償制度説明会	3月1日・2日(2回)	15人
障害者スポーツ指導情報交換会	3月25日	9人
合計		319人

横浜市スポーツ人材活用システム活動実績	活動登録者数	150人
	活用件数(延べ)	15,894件
	指導対象者数(延べ)	278,788人

イ 指導者技術向上事業

競技スポーツの指導技術、競技技術、審判技術などの向上を目的に、加盟競技団体・加盟地域団体が開催する研修会等に、経費の一部を助成しました。

実施団体	参加人数
横浜市インディアカ協会	17人
横浜市空手道連盟	33人
横浜市山岳協会	25人
横浜市卓球協会	127人
横浜市剣道連盟	227人
横浜市日本拳法連盟	10人
横浜市ダンススポーツ連盟	92人
横浜市スキー協会	19人

実施団体	参加人数
横浜市スポーツチャンバラ協会	58人
横浜市ゲートボール協会	36人
横浜市レクリエーション連合	中止
横浜市ボート協会	中止
横浜市綱引協会	18人
栄区スポーツ協会	中止
泉区スポーツ協会	72人
神奈川区スポーツ協会	100人
合計	834人

(2)スポーツボランティアセンター運営事業

横浜市スポーツボランティアセンターを運営し、市民のボランティア参加を推進しました。
また、令和6年2月11日(日)から2月24(土)のうち4日間、実践研修会「スポーツボランティアの心構えとおもてなし」を実施しました。

- ◆のべ活動人数・・・2,617人
- ◆募集件数・・・38件
- ◆研修参加人数・・・81人
- ◆会員登録者数・・・14,170人(令和6年3月末時点)



5 スポーツ情報の収集・提供と調査研究【定款第4条第1項第2号】

スポーツ情報の発信やスポーツに関する調査を通じて、スポーツを「知る」機会を提供しました。

(1)スポーツ情報サイト運営事業

横浜市内の最新のスポーツ・レクリエーション情報を幅広く収集し、市民が「する」「みる」「ささえる」といったスポーツ活動に参加しやすくなるよう、スポーツ情報サイト「ハマスポ」やSNS等を活用してスポーツ情報を提供しました。

主なコンテンツ	・市内スポーツイベント等のお知らせ・レポート記事(106件) ・著名人コラム(18件) (執筆者:あんどたかお氏、苅部俊二氏、障害者スポーツ文化センター横浜ラポール) ・ウォーキングコース情報(458件)、各団体からの情報をまとめて提供				
保有情報件数	施設情報 1,476件	サークル情報 79件	指導者情報 68件	イベント・教室情報 708件	合計 2,331件
アクセス数	1,485,032件				

6 インクルーシブスポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

障害の有無や年齢、性別、国籍等に関わらず、すべての人がスポーツに親しむことができる環境を整備しました。

(1) インクルーシブスポーツ推進事業

市内 18 箇所において、地域団体等と連携し、商店街や駅前広場など身近な場所でインクルーシブスポーツ体験会を実施しました。

◆参加人数・・・1,365 人



(2) インクルーシブスポーツフェスタ 2023

令和 5 年 11 月 23 日（木・祝）三ツ沢公園陸上競技場、補助陸上競技場にて、障害の有無や年齢、性別、国籍を問わず、誰でも気軽に参加できるインクルーシブスポーツイベントを開催しました。

◆参加人数・・・450 人

(3) パラスポーツ推進事業

加盟競技団体と協働し、パラスポーツ競技大会や体験会を開催しました。

◆実施種目・・・陸上競技、水泳、ボウリング、バトン

◆参加人数・・・594 人



(4) ゆるスポーツ事業(スポーツ共創事業)

小学校においてスポーツ共創事業として、学校やクラスの「オリジナルゆるスポーツ」を創りました。創ったスポーツは、学校内のほか、「三ツ沢公園感謝デー」でも披露し、地域の方と一緒にスポーツに親しむ機会を提供しました。

令和 6 年 3 月 16 日（土）には、三井アウトレット横浜ベイサイドにて、創ったスポーツを中心にゆるスポーツ運動会も開催しました。



7 スポーツ団体育成・支援等事業【定款第4条第1項第1号、第5条第1項第2号】

スポーツに関わる団体等を支援し、横浜のスポーツの振興を図りました。

(1) 顕彰事業

ア 横浜スポーツ表彰事業

体育・スポーツの普及振興に顕著な功績のあったもの、また、著名な大会で優秀な成績を収めた個人 217 人、団体 17 チームを表彰しました。

また、ラグビーワールドカップ 2023 フランス大会において、南アフリカ代表が優勝したことを受け、横浜市ゆかりの選手に、横浜市長及び公益財団法人横浜市スポーツ協会会長の連名で、横浜市スポーツ栄誉賞を贈呈しました。

賞名称	受賞人数・チーム
横浜市スポーツ栄誉賞	2名
スポーツ功労賞	38名
優秀指導者賞	4名
優秀選手賞	104名・13チーム
スポーツ奨励賞	71名・4チーム
計	219名・17チーム

イ スポーツ普及功労賞事業

加盟地域団体構成員で、地域においてスポーツの普及振興やスポーツクラブ育成のために寄与された個人 32 人に対し、横浜スポーツ普及功労賞を授与しました。

ウ 新春横浜スポーツ人の集い

令和6年1月26日（金）横浜武道館にて、「第58回新春横浜スポーツ人の集い」を実施しました。第1部では横浜スポーツ表彰式典、第2部では祝宴（賀詞交歓会）を開催し、表彰者を称えるとともに多くのスポーツ関係者の相互交流を図り親睦を深めました。

◆参加人数・・・899人

(2) 団体支援事業

ア 加盟団体助成事業

加盟団体の組織運営や各団体が自主的に実施するスポーツの普及・振興事業に係る経費に対して、助成金を交付しました。

(3) 来浜事業

横浜市少年自然の家が設置されている群馬県昭和村及び静岡県南伊豆町の児童 111 人を横浜に招待し、横浜への理解と親しみを深めてもらう事業を実施しました。

町村名	日程	児童数
群馬県昭和村	9月1日(金)～2日(土)	68人
静岡県南伊豆町	10月19日(木)～20日(金)	43人

8 スポーツ施設の運営事業【定款第4条第1項第5号、第5条】

35施設の安全・安心な管理・運営を通して、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる「場・機会」を提供しました。

◆主な施設の利用状況(3年間比較)

施設	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R5/R4
横浜市スポーツセンター	2,414,386人 (12施設)	1,866,157人 (12施設)	1,661,464人 (16施設)	129.4%
横浜市平沼記念体育館	127,602人	100,795人	70,277人	126.6%
横浜市青少年野外活動センター	53,528人	41,918人	25,546人	127.7%
横浜市少年自然の家	17,989人	12,998人	6,579人	138.4%
横浜国際プール	615,025人	540,327人	434,908人	113.8%
新横浜公園	1,557,847人	1,540,899人	609,450人	101.1%
三ツ沢公園	616,781人	482,911人	371,397人	127.7%
横浜市スポーツ医科学センター	174,515人	191,170人	152,366人	91.3%
テニスガーデン	155,788人	167,563人	178,389人	93.0%
横浜銀行アイスアリーナ	204,396人	231,723人	171,059人	88.20%
横浜武道館	530,497人	491,966人	265,180人	107.8%

(1)指定管理施設

ア 横浜市スポーツセンター

スポーツセンター12館（神奈川・西・南・保土ヶ谷・港北・青葉を除く）では、安全・安心な利用に留意して、トレーニング室や卓球・バドミントン等の個人利用を実施し、各種スポーツの団体利用、区民大会・市民大会等が開催されました。

また、幼児から高齢の方までを対象とした各種スポーツ教室を開催し、イベントでは、インクルーシブスポーツやパラスポーツの要素を取り入れ、スポーツ・レクリエーション活動を推進しました。

天井改修等工事により、鶴見スポーツセンターは令和4年6月1日から令和5年4月30日まで、中スポーツセンターは令和4年6月1日から令和5年5月30日まで、緑スポーツセンターは令和5年6月1日から令和6年4月8日まで、それぞれ長期休館となりました。



◆利用実績

施設名	利用人数(うち、個人利用人数)	施設名	利用人数(うち、個人利用人数)
鶴見	189,402人(59,434人)	緑	31,176人(7,106人)
中	160,147人(31,754人)	都筑	172,959人(42,560人)
港南	244,725人(35,382人)	戸塚	293,497人(78,633人)
旭	194,749人(37,766人)	栄	247,286人(61,394人)
磯子	204,320人(48,459人)	泉	226,567人(57,175人)
金沢	223,116人(51,747人)	瀬谷	226,442人(52,044人)
合計	2,414,386人(563,454人)		

イ 横浜市栄公会堂

栄スポーツセンターと一体管理となっている栄公会堂では、各種文化イベントが開催されました。また、講堂や諸室を利用した自主事業では、コンサートや伝統芸能などの文化行事を開催し、多くの皆様にご来館いただきました。

◆利用実績

団体数	2,270 団体	利用人数	136,299 人
-----	----------	------	-----------

ウ 横浜国際プール

当協会とコナミスポーツ(株)・(株)トーリツとの3者で指定管理者グループを形成し、プールやトレーニングルーム、テニスコートなどの管理運営を行ったほか、各種スポーツ・文化教室を開催しました。

メインプールでは、昨年度に引き続き、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」のレガシーイベントとして、「第2回インクルーシブ水泳競技大会」を8月5日・6日に開催しました。8月21日から25日まで「第46回JOCジュニアオリンピックカップ(AS競技)」が開催されました。

また、メインプールをスポーツフロア化した冬季には、12月26日に本田圭佑選手など著名なサッカー選手が参加した「4v4 U10 JAPAN CUP」、3月15日・16日に「2024 ジャパンパラゴールボール競技大会」がそれぞれ開催されました。

さらに、横浜ビー・コルセアーズのホームアリーナとして活用され、Bリーグの公式戦23試合と天皇杯1試合が行われました。全ての試合チケットが完売となり、平均観戦入場者数は過去最多を記録しました。



◆利用実績

種別	利用人数
個人利用	246,321 人
団体利用	33,533 人
優先利用人数(大会等)	227,799 人
教室参加人数	107,372 人
合計	615,025 人

◆主な行事

大会・行事名	開催月	入場者数
第2回 インクルーシブ水泳競技大会	8月5日・6日	562 人
第46回 JOC ジュニアオリンピックカップ(AS競技)	8月21日～25日	2,422 人
2023 ジャパンパラ水泳競技大会	9月16日～18日	2,500 人
横浜ビー・コルセアーズホームゲーム 24 試合	10月～3月	122,004 人
4v4 U10 JAPAN CUP 2023	12月26日	4,276 人
2024 ジャパンパラゴールボール競技大会	3月15日・16日	350 人

エ 横浜武道館

株式会社 YOKOHAMA 文体の構成員として、横浜武道館の管理運営を行いました。

武道館 2 階のアリーナの稼働率は 95%、1 階の武道場及び多目的室いずれも 70% を超え、多種多様なスポーツ団体、興行団体にご利用いただきました。

10 月には、横浜スポーツ・レクリエーションフェスティバルの一環で「第 24 回横浜武道合同演武会」を開催、市内武道 10 団体の演武が披露された他、コロナ禍で中止としていた、誰でも自由に参加できる各武道体験会を同時開催することができました。

また、令和 4 年度に販売を開始をした「武道ワイン」に続き、8 月より、横浜のお米メーカーとの共同企画により商品化した「横濱武道舞」の販売もスタートしました。横浜市産のお米を使用することで、地産地消、地域の活性化につなげることで、横浜武道舞を通じた食育への取り組みを推進することを目的としています。

◆利用実績

利用団体数	利用人数
6,372 団体	530,497 人

◆主なイベント

イベント名	開催月日	入場者数
第 39 回皇后杯全日本柔道選手権大会	4 月 23 日	約 1,200 人
K-1 WORLD GP2023	6 月 3 日	約 2,000 人
パラ ID ジャパンチャンピオンシップ卓球大会	6 月 17 日・18 日	約 600 人
CHILL CLASSIC CONCERT	6 月 10 日・11 日	約 5,200 人
クラッシュギャルズ 40 周年イベント	10 月 1 日	約 2,000 人
第 25 回 W リーグ富士通レッドウェーブホームゲーム(VS デンソー)	11 月 11 日・12 日	約 3,100 人
第 1 回 Baseball5 日本選手権	2 月 4 日	約 500 人
B リーグ横浜エクセレンスホームゲーム(VS 徳島)	2 月 23 日・24 日	4,520 人



オ 横浜市平沼記念体育館

三ツ沢公園内にある平沼記念体育館の管理運営を行いました。

平沼亮三氏の業績を展示した資料室や展望室などを見学する個人利用、各競技団体によるフットサルやハンドボールなどの団体利用のほか、FMヨコハマが主催するインクルーシブスポーツイベント「ちょうどいい運動会」や各種大会が開催されました。

◆利用実績

種別	利用人数
個人利用	1,407 人
団体利用(3,883 団体)	120,842 人
スポーツ教室(全 11 教室)	5,353 人
合計	127,602 人

カ 横浜市青少年野外活動センター

三ツ沢公園（神奈川区）、くろがね（青葉区）、こども自然公園（旭区）の各青少年野外活動センターの管理運営を行いました。

青少年への集団宿泊体験の場の提供や、自然環境を生かしたプログラムの指導及び野外活動教室事業を実施しました。

◆利用実績

施設名	団体数	延べ利用人数
三ツ沢公園	568 団体	14,001 人
くろがね	784 団体	12,532 人
こども自然公園	864 団体	26,995 人
合計	2,216 団体	53,528 人



三ツ沢公園青少年野外活動センター
わんぱくおてんば探検隊

◆野外活動教室の実施

施設名	教室数	延べ参加人数
三ツ沢公園	20 教室	3,150 人
くろがね	26 教室	2,280 人
こども自然公園	15 教室	4,922 人
合計	61 教室	10,352 人

キ 横浜市少年自然の家

赤城林間学園（群馬県）及び南伊豆臨海学園（静岡県）の管理運営を行いました。

シーカヤック、ハイキング、自然観察、創作活動などの自然体験等の学習の場を提供しました。

◆利用実績

施設名	団体数	延べ利用人数
赤城	132 団体	11,885 人
南伊豆	103 団体	6,104 人
合計	235 団体	17,989 人

◆野外活動教室の実施

施設名	教室数	延べ参加人数
赤城	9 教室	357 人
南伊豆	6 教室	829 人
合計	15 教室	1,186 人



赤城林間学園
冬を楽しむ家族の集い

ク 新横浜公園／日産スタジアム等

横浜市スポーツ協会、F・マリノススポーツクラブ、管理JV（ハリマビシステム他4社）が共同事業体を構成し、日産スタジアムを含む新横浜公園（67.8ha）の管理運営を行いました。

日産スタジアムでは、AFCチャンピオンズリーグにも出場した横浜F・マリノスホームゲーム全20試合、ジャパンラグビーリーグワン（横浜キヤノンイーグルス戦）2試合、初開催となるセイコーゴールドングランプリ陸上2023のほか、7万人規模でのコンサート（3公演6日間）が行われました。

水と緑が豊かな新横浜公園では、四季折々の生きもの観察会等を実施するとともに、園内の各施設（運動広場など）は市民大会や区民大会等でにぎわいました。

◆利用実績

施設名	利用人数
日産スタジアム(国内最大 7 万 2 千人収容)	955,382 人
日産フィールド小机	21,752 人
日産ウォーターパーク	61,631 人
新横浜公園内有料施設(北側園地)	136,554 人
新横浜公園内無料施設(イベント利用のみ)	239,925 人
しんよこフットボールパーク	94,121 人
ドッグラン	68,482 人
合計	1,557,847 人



Jリーグ 横浜 F・マリノス戦

①日産スタジアム（日本陸連第1種公認陸上競技場）

◆主なイベント

イベント名	開催月	入場者数
Jリーグ(15 試合、ルヴァンカップ準決勝含む)	4～3月	422,850 人
AFC チャンピオンズリーグ(5 試合)	9～3月	46,717 人
セルティック FC・ジャパンツアー2023	7月	20,263 人
ジャパンラグビー リーグワン(2 試合)	4月・12月	46,346 人
セイコーゴールデングランプリ陸上 2023	5月	12,545 人
第 39 回全国小学生陸上競技交流大会	9月	5,743 人

②日産フィールド小机（日本陸連第3種公認陸上競技場）

◆主なイベント

イベント名	開催月	入場者数
高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ(6 試合)	4～11月	920 人
JA 全農チビリンピック 2023	5月	3,000 人
神奈川県高等学校駅伝競走大会	11月	1,200 人
港北駅伝大会	1月	1,450 人

③日産ウォーターパーク（温水利用型の 22 種類のプール）

④北側園地有料施設（野球場、運動広場第1・第2、投てき練習場、テニスコート、ドッグラン、球技場）

⑤新横浜公園内無料施設（スケボー広場、インラインスケート広場1・2、バスケットボール広場、壁打ちテニスコート、公園内園路、広場等）

ケ 三ツ沢公園

横浜市緑の協会・横浜市スポーツ協会が共同事業体を構成して運営する、三ツ沢公園のうち、ニッパツ三ツ沢球技場、陸上競技場、補助陸上競技場及び馬術練習場の管理運営を行いました。

球技場では、Jリーグ、なでしこリーグなどの利用がシーズンを通して行われ、ラグビーリーグワンなどの利用もありました。コロナ前の利用に戻りつつある中、稼働率の非常に高い施設の運営を着実に行いました。

陸上競技場では、市や県の陸上記録会、各種市民大会や区民大会等が開催されました。

そのほか、「ブラインドサッカー体験会」、球技場の芝生に入ることができる「芝生にふれよう」、横浜サッカー協会と共催での「ガールズカップ」、馬術練習場での「餌やり体験」などの自主事業を行いました。

◆利用実績

施設	利用人数
ニッパツ三ツ沢球技場	311,411 人
三ツ沢陸上競技場	158,002 人
三ツ沢補助陸上競技場	135,387 人
馬術練習場	11,981 人
合計	616,781 人



ニッパツ三ツ沢球技場

◆主なイベント（ニッパツ三ツ沢球技場）

イベント名	開催月	入場者数
J1 横浜 FC、横浜 F・マリノス 20 試合(ルヴァンカップ含む)	4～11 月	166,934 人
J2 横浜 FC 4 試合	2、3 月	25,724 人
J3 Y.S.C.C. 21 試合(ルヴァンカップ含む)	4～3 月	27,934 人
なでしこリーグ1部(日体大 SMG 横浜、ニッパツ横浜 FC シーガルズ)、WEリーグ 15 試合	4～3 月	7,748 人
サッカー天皇杯 2回戦、県決勝戦 3試合	5、6 月	6,625 人
第 102 回全国高等学校サッカー選手権大会 1回戦、2回戦	12 月	21,769 人
ジャパンラグビーリーグワン、ラグビークロスボーダーマッチ 4試合	12～2 月	29,776 人



ジャパンラグビーリーグワン



ブラインドサッカー体験会



馬術練習場 餌やり体験

コ 横浜市スポーツ医科学センター

クリニック（内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科）、大・小アリーナ（体育館）、25m プール、トレーニングルーム、研修室などの管理運営を行いました。施設の特徴を活かし、体操・水泳などのスポーツ教室や健康教室のほか、減量・脂肪燃焼教室や筋力向上・姿勢改善教室などの目的別教室等を実施しました。また、プロや実業団のスポーツチーム等を対象としたメディカルチェックや各競技に即した専門的な体力測定を実施しました。

大アリーナ及び 25m プールは、天井脱落工事を実施したため、令和 5 年 9 月から令和 6 年 3 月まで利用を休止しました。

①スポーツプログラムサービス（SPS）

医学的検査・運動負荷試験・体力測定の実施結果により、生活・栄養・運動について、医師・管理栄養士・スポーツ科学員などの専門スタッフがアドバイスする「スポーツ版人間ドック」を行いました。

②クリニック（内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科）

スポーツ医学に基づく様々な治療をアマチュアからトップアスリートに対して提供しました。

③メディカルエクササイズコース（MEC）

内科的・整形外科的疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方を対象にした医学的運動療法を実施しました。

④講座・講演

行政や競技団体からの依頼を受け、管理栄養士や理学療法士、運動指導員等が講師となり、健康に関する講演や実技指導を行いました。

⑤産官学連携による事業推進

北里大学と令和5年4月1日に連携協定書を締結し研究事業を進めました。また、岩崎学園と令和6年3月27日に連携協力の協定書締結式を行いました。

横浜市が医療・健康分野の産学官連携を推進する「LIP.横浜」の協力機関として、デジタルヘルスケア分野の新技术・新製品の開発を支援する専門家集団に診療部の担当課長が参画しました。

◆利用実績

種別		人数
スポーツプログラムサービス		1,085人
クリニック	内科	3,194人
	整形外科	21,896人
	リハビリテーション科	46,468人
	MEC	9,614人
施設利用		39,623人
講座・講演		254人
自主事業		52,381人
合計		174,515人



(2)その他施設

ア 横浜銀行アイスアリーナ

国際規格を満たすスケートリンク施設の管理運営を行い、一般滑走利用や氷上スポーツ団体等への貸出などを通してアイススケートを主とした氷上スポーツの場を提供したほか、諸室や空きスペースを有効活用した各種教室事業やイベント事業を開催しました。

また、当リンクを拠点に活躍するフィギュアスケート選手の育成に力を入れ、多くの選手が各種競技大会で優秀な成績を収めることで、当リンクが注目されました。



一方、再整備から8年が経過し経年劣化がみられるようになってきました。7月には約1か月間スケート利用を休止し、氷層の全面入替工事を実施しました。

◆利用実績

一般利用者	53,835人
団体利用者	8,600人
教室利用者	96,479人
貸切利用者	45,482人
合計	204,396人

◆主なイベント

イベント名	開催月	参加人数
アイスフェスティバル 2023	5月	99人
JCA カーリングスクール横浜 2023	7月	168人
スポレク 2023 親子スケート教室	10月	177人
横浜銀行 Presents 親子スケート	1月	210人

イ 横浜市鶴見川漕艇場

ボート・カヌーの利用、貸出しを行いました。また、初心者を対象としたボートやカヌーの教室を7教室開催し、259人が参加しました。

◆利用実績

艇利用数	3,284艇
利用人数	18,885人



漕艇場 ボート教室

ウ 屋外プール

横浜プールセンターは、設備の老朽化により営業休止中です。

エ テニスガーデン

緑テニスガーデン（10面）、根岸テニスガーデン（9面）、泉中央テニスガーデン（11面）の管理運営を行いました。テニスコートの一般貸出しを行ったほか、子どもから大人まで広く市民が参加できるテニス教室を開催しました。

◆利用実績

施設名	利用人数	貸コート人数	教室参加人数	イベント参加人数
緑テニスガーデン	43,955人	30,688人	11,869人	1,398人
根岸テニスガーデン	75,139人	24,822人	48,732人	1,585人
泉中央テニスガーデン	36,694人	20,498人	13,081人	3,115人
合計	155,788人	76,008人	73,682人	6,098人

9 その他事業

(1) 横浜子どもスポーツ基金 【定款第4条第1項第1号、第5号】

寄付を原資とした「横浜子どもスポーツ基金」を運用し、スポーツを通じて、障害のある子どもたち等を支援・援助することを目的とした事業への支援活動を行いました。

◆事業助成・・・14,718,000円（7件）

(2) 賛助会員事業 【定款第4条第1項第6号、第5条第1項第2号】

当協会が実施する各種事業を推進していくための財源として活用するため、協会の理念やそれに基づくさまざまな活動に賛同していただける、個人・団体からの寄付金を賛助会費として募りました。

(3) 新横浜駐車場の運営 【定款第5条第1項第2号】

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場の運営を行いました。

種別	延べ利用台数
月極駐車場	12台
時間貸駐車場	70,998台

II 処務の概要

1 評議員に関する事項【定款第11条】

(令和6年3月31日現在 評議員 27名)

No	役職	氏名	所属等
1	評議員	石島孝志	横浜市綱引連盟理事長
2	評議員	伊藤嘉章	一般社団法人横浜市アーチェリー協会とみどりの会副会長
3	評議員	倉又明美	横浜市なぎなた連盟理事長
4	評議員	小清水秀雄	横浜市山岳協会会長
5	評議員	小島永三	横浜バスケットボール協会会長
6	評議員	田邊賢一	横浜市スポーツチャンバラ協会会長
7	評議員	星真太郎	特定非営利活動法人横浜市ボート協会理事
8	評議員	木村英一	横浜市バドミントン協会理事長
9	評議員	近藤昌弘	特定非営利活動法人横浜市馬術協会副会長
10	評議員	福田隆	横浜市ダンススポーツ連盟理事
11	評議員	山崎由明	一般社団法人横浜水泳協会常務理事
12	評議員	山本美智子	横浜市レクリエーション連合理事
13	評議員	下田秀美	保土ヶ谷区スポーツ協会副会長
14	評議員	矢島孝幸	横浜市立小学校体育研究会会長
15	評議員	小田治男	横浜市医師会横浜スポーツ医会会長
16	評議員	上條浩	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団常務理事 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール館長
17	評議員	高橋和子	横浜国立大学名誉教授、静岡産業大学教授
18	評議員	依田充代	日本体育大学教授 オリンピックスポーツ文化研究所長 明治学院大学教養教育センター非常勤講師
19	評議員	沼澤秀雄	立教大学スポーツウエルネス学部教授
20	評議員	筒井理	横浜エフエム放送株式会社 編成部 担当部長
21	評議員	嶋田充郎	株式会社テレビ神奈川取締役 編成・報道担当 編成局長
22	評議員	真野太樹	株式会社神奈川新聞社統合編集局運動部長
23	評議員	平元亨	日本放送協会横浜放送局長
24	評議員	石川隆一	横浜市教育委員会事務局学校教育企画部長
25	評議員	熊坂俊博	横浜市にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興部長
26	評議員	坂井和洋	横浜市環境創造局公園緑地部長
27	評議員	坂本今朝幸	横浜市南区スポーツ推進委員連絡協議会会長

1 評議員人事（定款第 11 条）

(1) 令和5年4月 30 日付辞任

加藤 直裕

(2) 令和5年6月 27 日付就任（任期満了に伴う改選）

木村 英一、近藤 昌弘、福田 隆、山崎 由明、山本 美智子、矢島 孝幸、依田 充代、筒井 理、坂井 和洋

（重任）石島 孝志、伊藤 嘉章、倉又 明美、小清水 秀雄、小島 永三、田邊 賢一、星 真太郎、下田 秀美、小田 治男、上條 浩、高橋 和子、沼澤 秀雄、嶋田 充郎、真野 太樹、白坂 光二、石川 隆一、熊坂 俊博、坂本 今朝幸

(3) 令和5年6月 30 日付辞任

白坂 光二

(4) 令和5年8月 31 日付就任

平元 亨

(5) 令和6年3月 31 日付辞任

石川 隆一、坂井 和洋

2 評議員選定委員会に関する事項（定款第 12 条）

	開催日	決議事項
1	6月15日	・評議員の選任の件
2	8月31日 (決議の省略の方法による)	・評議員の選任の件

3 評議員会に関する事項（定款第 16 条、第 17 条、第 20 条）

	開催日等	決議事項
1	4月1日 (決議の省略の方法による)	・理事の選任の件
2	5月30日 (決議の省略の方法による)	・評議員候補者の推薦の件
3	6月27日	・令和4年度事業報告及び決算の承認の件 ・理事の選任の件
4	8月10日 (決議の省略の方法による)	・評議員候補者の推薦の件

2 役員に関する事項【定款第 22 条】

(令和 6 年 3 月 31 日現在 理事 20 名 監事 2 名)

No	役職	氏 名	所 属 等
1	会 長	山 口 宏	横浜野球協会会長・横浜野球連盟会長 中区スポーツ協会会長・榊共栄社代表取締役社長
2	副会長 兼 専務理事	雨 宮 勝	専務理事
3	副会長	日 下 啓 二	横浜市テニス協会会長
4	副会長	伊 澤 万 樹	旭区スポーツ協会会長
5	副会長	吉 備 カ ヨ	株式会社ジョビア代表取締役社長
6	常務理事	黒 川 正 人	事務局長 兼 総務経営局長
7	常務理事	藤 野 純	スポーツ施設局長 兼 スポーツ事業局長
8	常務理事	高 橋 寛	スポーツ事業局大規模スポーツイベント担当局長
9	常務理事	井 上 幸 一	公園管理局长
10	常務理事	川 瀬 伸 二	警備統括監
11	理 事	石 井 和 則	一般社団法人横浜サッカー協会理事
12	理 事	中 村 博	横浜ハンドボール協会理事長
13	理 事	平 岡 可奈之	横浜市卓球協会副会長
14	理 事	米 持 眞 吾	一般社団法人横浜市陸上競技協会理事長
15	理 事	柿 崎 政 治	横浜市ソフトボール協会常務理事
16	理 事	小 金 澤 光司	横浜市トライアスロン協会理事長
17	理 事	藤 至 光	横浜市立中学校体育連盟会長
18	理 事	佐 々 木 玲子	慶應義塾大学体育研究所教授
19	理 事	西 山 雄 二	公益財団法人横浜市スポーツ協会スポーツイベントシニアコーディネーター
20	理 事	足 立 哲 郎	横浜市にぎわいスポーツ文化局長
1	監 事	鈴 木 常 夫	横浜市柔道協会理事長
2	監 事	齋 藤 貴 司	ベイ・タックス税理士法人代表社員税理士

1 役員人事（定款第 22 条）

(1) 令和 5 年 4 月 1 日付就任

専務理事 雨宮 勝

(2) 令和 5 年 6 月 27 日付就任（任期満了に伴う改選）

柿崎 政治、小金澤 光司、藤 至光、佐々木 玲子、西山 雄二、足立 哲郎

（重任）山口 宏、雨宮 勝、日下 啓二、伊澤 万樹、吉備 カヨ、黒川 正人、

藤野 純、高橋 寛、井上 幸一、川瀬 伸二、石井 和則、中村 博、平岡 可奈之、
米持 眞吾

(3)令和6年3月 31 日付辞任

黒川 正人

2 理事会に関する事項（定款第 31 条、32 条、35 条）

	開催日(決議成立日)	決議及び承認事項 等
1	4 月 1 日 (決議の省略の方法による)	・ 理事の選任の件
2	5 月 10 日 (決議の省略の方法による)	・ 評議員会を決議省略にて実施することの承認の件
3	6 月 8 日	・ 令和 4 年度事業報告及び決算の承認の件 ・ 評議員会の日時、場所及び付議する事項の決定の件 ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告 ・ 評議員候補者の報告 ・ 理事候補者の報告
4	6 月 27 日	・ 役付理事の選定の件 ・ 顧問の選任の件 ・ 専門委員会及び区スポーツ協会代表者会議の委員長選任の件 ・ 評議員の選定の報告
5	7 月 20 日 (決議の省略の方法による)	・ 専門委員会副委員長及び委員、区スポーツ協会代表者会議の副委員長の選任の件 ・ 評議員選定委員の外部委員の選任の件 ・ 評議員候補者の承認の件 ・ 評議員会を決議の省略にて実施することの承認の件
6	12 月 14 日	・ 令和 5 年度横浜スポーツ表彰被表彰者の決定の件 ・ 令和 3 年度及び令和 4 年度における公益目的事業の剰余金の取り扱いの件 ・ 評議員選定委員会運営規程の改正の件 ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告 ・ 令和 5 年度横浜スポーツ普及功労賞被表彰者報告 ・ 令和 5 年度横浜市スポーツ栄誉賞被表彰者報告 ・ 横浜市旧市庁舎街区活用事業報告 ・ 第 6 期中期計画進捗報告 ・ 加盟団体新規加入申請団体報告
7	3 月 26 日	・ 第 6 期中期計画の承認の件 ・ 令和 6 年度事業計画書及び予算書の承認の件 ・ 理事の利益相反取引の承認の件 ・ 重要な職員の任命の承認の件

3 職員に関する事項【定款第42条】

固有職員	再雇用職員	一般職員	横浜市派遣職員	嘱託職員	合計
155名	15名	6名	5名	82名	263名

(令和6年3月31日現在)

4 委員会に関する事項等【定款第43条】

1 専門委員会

	開催日	議 題
総務	11月6日	加盟申請団体の審査、新春横浜スポーツ人の集い実行委員について、賛助会員の状況報告
市民スポーツ 競技 (合同開催)	8月28日	令和5年度事業計画、スポーツ協会内の加盟団体ホームページ変更、学校部活動の情報共有、パラスポーツの推進現状の意見交換
市民スポーツ	11月28日	令和5年度横浜スポーツ普及功労賞候補者の選考について
競技	3月7日	令和6年度事業計画および学校部活動支援について

2 連絡協議会

	開催日	議 題
加盟団体代表者会議	11月22日	講演会「スポーツと共生社会」、新任評議員・理事の紹介、退任評議員・理事への感謝状贈呈式
区スポーツ協会 代表者会議	6月19日	委員長、副委員長候補の推薦、会議議題、横浜市スポーツ協会事業計画書、加盟団体紹介ページについて
	9月11日	各区スポーツ協会表彰規程、運営状況、企業協賛について 各区情報交換
	11月20日	企業協賛について、インクルーシブスポーツの取組・瀬谷区事例、各区情報交換、スポーツにおけるインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）
	2月19日	各区表彰について、横浜市における部活動の方向性、企業協賛、Facebook構築及び運営について

5 加盟団体に関する事項【定款第44条】

加盟競技団体	加盟学校団体	加盟地域団体	加盟 スポーツ団体	合計
52団体	3団体	18団体	1団体	74団体

Ⅲ 資料

1 中期計画達成状況

2 賛助会員

特別企業・団体会員

特別個人会員

企業・団体会員

個人会員

1 中期計画達成状況

■第5期中期計画（令和5年度実績）

目標		成果指標	達成状況		
1	市民ニーズを捉えた収益力の強化	①定員に対する事業参加率を70%以上	未達成 (57.9%)		
		②予算における自主事業（指定管理施設を除く）の収入を2020年度比12%以上増	未達成 (9.0%)		
		③新たな収益事業の創出	達成 (105事業)		
2	多様な事業に対応する競争力の強化	①応募する全ての指定管理施設の獲得	(R5) 2/2	(R4) -	(R3) 19/25
		②健康運動指導士の資格試験に10人以上合格	(R5) 3人	(R4) 3人	(R3) 2人
		③SDGsの取り組みの実行	8人（未達成）		
3	持続可能な組織となるための財務基盤強化	①流動比率を2020年度決算より30%以上増	未達成 (-31.1%)		
		②自己資本比率を2020年度決算より4.5%以上増	達成 (+6.9%)		
4	横浜市スポーツ推進計画実現への貢献	横浜市スポーツ推進計画の目標達成に貢献するための機会を提供	達成 (55,818事業)		

2 賛助会員

※令和6年3月31日現在・50音順・敬称略

※非公開希望者は掲載していません。

特別企業・団体(16)					
(有)旭屋		エクスプロージョン合同会社		鹿島建物総合管理(株)	
(株)共栄社		(株)キョーエーメック		(株)トーリツ	
東日本電信電話(株)		藤木企業(株)		藤木陸運(株)	
(株)プロアバンセ		(株)横浜アーチスト		横浜エレベータ(株)	
(一社)横浜サッカー協会		(株)横浜シミズ		(株)横浜スタジアム	
(株)ロイヤルホール					
企業・団体(46)					
(有)朝日スポーツセンター・イックスポーツ瀬谷店		(株)安藤スポーツ		(株)エイト	
神奈川県民共済生活協同組合		(株)環境造園		(有)関東化染工業所	
(株)栗田園		公益情報システム(株)		湘南建設(株)	
(株)スリーオークスコミュニティ		太洋歯科クリニック		(株)TACT・JAPAN	
東京体育用品(株)		東横イン横浜新子安駅前		(株)ハウジングカネコ	
(有)平沼スポーツ店		ベイ・タックス税理士法人		松宮整形外科	
丸五運輸(株)		(株)山野井		よこはまウオーキング協会	
横浜市合気道連盟		横浜市アマチュアボクシング協会		横浜市インディアカ協会	
横浜市弓道協会		横浜市グラウンド・ゴルフ協会		横浜市剣道連盟	
横浜市柔道協会		横浜市少年野球連盟学童部		横浜市少林寺拳法連盟	
横浜市スポーツチャンバラ協会		横浜市総合型地域SC連絡協議会		横浜市卓球協会	
横浜市テニス協会		横浜市なぎなた連盟		NPO法人横浜市馬術協会	
横浜市婦人スポーツ団体連絡協議会		横浜市ボウリング協会		(一社)横浜市ラグビーフットボール協会	
(一社)横浜市陸上競技協会		横浜市レィスハットシント連盟		(一社)横浜水泳協会	
横浜バスケットボール協会		横浜野球協会		横浜野球連盟	
特別個人(19)					
阿部 哲治	尾島 良一	河原 智	菊池 侃二	日下 啓二	五反田 哲哉
齊藤 禮二	高井 祿郎	高柳 和弘	田邊 賢一	南部 信治	馬場 正徳
濱 陽太郎	平岡 可奈之	山口 宏	山崎 善也	山田 力	
個人(76)					
相川 隆	伊澤 万樹	石井 和則	伊藤 隆介	岩井 茂	岩井 功
岩倉 憲男	岩本 博	宇田川 ユキ子	梅田 巖	大澤 眞治郎	大辻 明
小野 謙治	小野 琢司	加藤 宏子	加藤 弘	川口 俊行	川戸 政角
河野 多恵子	及能 茂道	栗田 るみ	黒崎 二男	小泉 隆志	小坂 恵美子
小坂 典次	小柴 邦幸	齋藤 裕昭	三枝 勝巳	佐藤 富美男	下田 秀美
庄司 勉	菅谷 久夫	杉浦 紀子	杉山 郡啓	鈴木 信太郎	鈴木 常夫
鈴木 英一	鈴木 浩	清野 宏之	妹尾 愛子	高野 啓子	高嶺 隆二
滝川 成信	武居 和子	武田 功大	田中 義孝	富岡 俊次	永嶺 隆司
中山 次	夏田 智子	菜花 好和	林 紘男	廣瀬 正春	藤尾 不二枝
淵脇 建夫	古川 真澄	堀内 芳子	真壁 廣	牧 義一	松浦 隆
松澤 賢吉	丸山 隆	道下 修三	三ツ木 武	峰岸 義雄	森岡 健
矢島 孝幸	安田 恒雄	矢部 寛和	弓場 常正	横打 巖	横山 千代美
吉井 由里子	渡辺 良雄	渡辺 良雄			

※非公開希望者は掲載していません。

公益財団法人横浜市スポーツ協会

〒231-0015

横浜市中区尾上町六丁目 81 番地

ニッセイ横浜尾上町ビル内

TEL 045-640-0011(代表)

FAX 045-640-0021

URL <https://www3.yspc.or.jp/>